

《 GP米 の食味値や成分の分析検査結果 》

埼玉県春日部市でGP農法を取り入れて生産した、2013 年度産のお米を、埼玉みずほ農業協同組合で「CTA10A」による検査をしました。

GP米 検査 1

国産玄米	2013/09/18
No. 36/1~36 (n=36)	15:22
アミロース	18. 3%
タンパク質	7. 1%
水分	14. 3%
脂肪酸度	16. 5mg/100g
食味値	83 (A)point

GP米 検査 2

国産玄米	2013/09/25
No. 47/1~47 (n=47)	
アミロース	18. 4%
タンパク質	7. 4%
水分	15. 0%
脂肪酸度	14. 7mg/100g
食味値	81 (A)point

GP米 検査 3

国産玄米	2013/10/01
No. 2/1~2 (n=2)	14:50
アミロース	18. 6%
タンパク質	7. 4%
水分	13. 1%
脂肪酸度	16. 2mg/100g
食味値	80 (A)point

【食味値】 米の食味評価値で、数値が高い程美味しい。

~55	~60	~65	~70	~75	~80
劣	やや劣	普通	やや良	良	極上

【アミロース】

18	19	20	21	22
低・やや低	普通	やや高・高		

デンプンの中におけるアミロースの占める割合を数値にしており、数値が低い程粘りがあり美味しい。高い程ご飯が固くなり美味しくない。

【たんぱく質】

7.0	7.5	8.0	8.5	9.0
低・やや低	普通	やや高・高		

米の中におけるタンパク質の占める割合。数値が低い程、ふっくらとしたご飯が炊きあがる。白米ドライベース 15%換算。

試験検査成績書

第13100458-001-1 号
平成25年4月30日

GP農法研究会 殿

平成25年4月23日、本会に依頼された供試品の試験検査結果は下記のとおりです。

公益財団法人 日本食品油脂検査協会
東京 東京都中央区日本橋浜町3丁目27番8号
大阪 大阪府大阪市北区天神橋3丁目8番9号

供試品	とちおとめ仔
-----	--------

試験検査結果

項目	検査結果	単位	検出限界	方法
ビタミン成分				
ビタミンC	83 <u>52%</u>	mg/100g	1	高速液体クロマトグラフ法

平成25年4月30日
検査済
60

2014年1月27日

糖度測定(Brix%)

一般社団法人農民連合会

1. 分析について

2. 分析条件・分析装置など

3. 分析結果

以上

104/

八田純人

分析報告書

ビタミン C 簡易分析

一般社団法人
農林水産
食品分析センター
農民連食品分析センター
所長 八田純人

分析依頼者	住所	〒344-0011 埼玉県春日部市			電話	
	氏名	高橋			FAX	-
分析依頼試料	品名	ホウレン草				
	生産者	下記参照				
分析依頼年月日	2014 年 1 月 27 日	試料受領日	2014 年 1 月 27 日	分析依頼項目	ビタミン C 簡易分析	

1. 分析方法

試料について、下記の条件でビタミン C の簡易測定をおこないました。

2. 分析条件・分析装置など

試料(生)に、2%メタリン酸を適量加え、希釈とホモジナイズをおこなった。これを試験液として RQ フレックス(簡易型反射式光度計「RQ フレックス (MERCK 製)」)にてビタミン C を測定した。測定部位は可能な限り第五訂日本食品標準成分表に基づき調整し、試験に供した。

3. 分析結果

分析 No.	品名・品種など	生産方法 生産地・生産者など	ビタミン C 含有量 (mg/100g)	第五訂日本食品標準 成分表記載の数値 (mg/100g)
114265	ホウレン草	高橋	72	60 (冬採りの場合)

以上

After Vitamin
12

60

分析実施日 2014 年 2 月 7 日

分析担当者 小田川遙平

八田純人

分析報告書

ビタミン C 簡易分析

一般社団法人
農民連食品分析センター
所長 八田純人

分析依頼者	住所	〒344-0001 埼玉県春日部市		電話	-
	氏名	鈴木		FAX	-
分析依頼試料	品名	トマト			
	生産者	鈴木			
分析依頼年月日	2014年5月24日	試料受領日	2014年5月26日	分析依頼項目	ビタミン C 簡易分析

1. 分析方法

試料について、下記の条件でビタミン C の簡易測定をおこないました。

2. 分析条件・分析装置など

試料(生)に、2%メタリン酸を適量加え、希釈とホモジナイズをおこなった。これを試験液としてRQフレックス(簡易型反射式光度計「RQ フレックス (MERCK 製)」)にてビタミン C を測定した。測定部位は可能な限り第五訂日本食品標準成分表に基づき調整し、試験に供した。

3. 分析結果

分析 No.	品名・品種など	生産方法 生産地・生産者など	ビタミン C 含有量 (mg/100g)	第五訂日本食品標準 成分表記載の数値 (mg/100g)
114482	トマト	鈴木	35	15 (トマト、果実、生)

以上

分析実施日 2014 年 5 月 27 日
分析担当者 小田川達平
八田純人